

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年5月17日（金）

2 確認箇所

測定・確認用設備（K4タンクエリア）、移送設備（多核種移送設備建屋、希釈設備（5, 6号機敷地護岸ヤード）（図1）

3 確認項目

- ・多核種除去設備等処理水の放出状況（第6回）
- ・K4タンクエリア堰拡張工事の状況

4 確認結果の概要

本日（5月17日）第6回目の多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の放出が開始されたことから、放出対象となっている測定・確認用サンプルタンクA群の移送ライン構成作業の状況や、処理水移送ポンプ及び海水ポンプ等の設備の稼働状況を確認した。

【前回確認日：令和6年4月19日（第5回放出）】

【ALPS処理水の放出（第6回）】

放出対象：ALPS処理水（測定・確認用サンプルタンクA群）

予定放出量：約7,800m³

予定期間：令和6年5月17日（金）～同年6月4日（火）

また、ALPS処理水の漏えいや意図しない放出等の異常発生に備えた対策として行われているK4タンクエリアの堰拡張工事^{※1}の進捗状況を確認した。【前回確認日：令和6年3月8日】

※1 堰拡張工事：ALPS処理水希釈放出設備設置に係る事前了解に際して福島県原子力発電所安全確保技術検討会がとりまとめた8つの要求事項を受けて、東京電力が追加の安全対策として進めている。地震等により、タンクとタンクを繋ぐ連結弁が破損してALPS処理水が大量に漏えいした場合に備え、堰の貯留可能量を増大させるための工事。

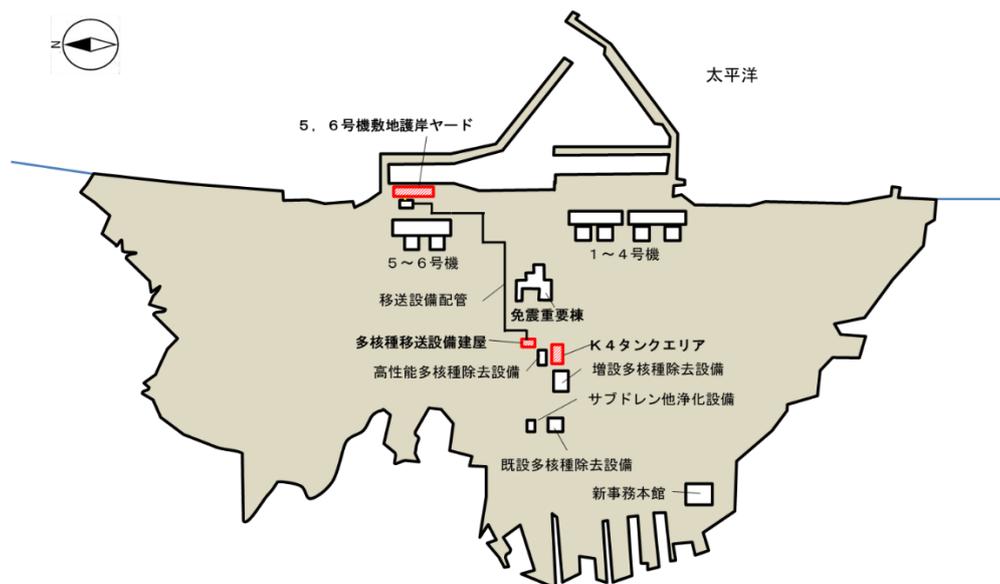
<ALPS処理水の放出状況（移送ライン構成作業等の状況）>

- ・移送ライン構成作業は、操作手順書に従い、操作指示の復唱や操作実施前後における指差呼称による確認を行いながら、弁の状態確認や手動操作が進められていた。（写真1）
- ・11時37分に処理水移送ポンプ（B）が起動し、ALPS処理水の移送工程が始まり、海洋放出が開始となった。

- ・放出開始後、放出経路の確認が行われ、処理水移送ポンプや海水移送ポンプ、配管等に異常がないことを確認した。（写真2～3）

＜K4タンクエリア堰拡張工事の状況＞

- ・前回（3月8日）確認時と比較し、現場の状況に変化は見られなかった。（写真4）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真1）
測定・確認用サンプルタンクA群の
連結弁「全開」操作の状況



（写真1-2）
測定・確認用サンプルタンクA群の
連結弁「全開」操作後、チェーンロ
ック（施錠）された連結弁



(写真1-3)

測定・確認用サンプルタンクA群抽出一次弁全開操作後のチェーンロック作業（施錠）の状況



(写真2)

処理水移送ポンプ（B）の確認状況

ALPS処理水
移送ポンプ（B）



(写真3)

海水移送ポンプ（C）の確認状況



K4タンクエリア



K4タンクエリア

(写真4-1)

K4タンクエリア堰拡張工事予定箇所の状況（南西側より、令和6年3月8日撮影）

(写真4-2)

K4タンクエリア堰拡張工事予定箇所の状況（南西側より、令和6年5月17日撮影）

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。